

EIWA UNIVERSE

第19号

発行日 2019年3月20日

「車座ふるさとトーク in 静岡英和学院大学」が開催されました。

ハイライト:

- 車座ふるさとトーク in 静岡英和学院大学 開催 (1p)
- 2018年度クリスマス 礼拝を振り返って (3p)
- 2019年度学納金の 納入期日について (6p)
- 秋の講演会を開催しました (8p)

目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
研究室探訪 財務課	6
留学生センター 保健室	7
キャリア支援課 後援会	8

11月19日(月) 本学で財務省による「車座ふるさとトーク」が行われました。「車座ふるさとトーク」とは、安倍内閣が行っている取組で、大臣、副大臣、政務官が地域に赴き、国民と少人数での車座の対話を行い、生の声をつぶさに聴いて、政策にいかすとともに、政府の重要政策について説明するもので平成25年から開催されています。

本学には伊佐進一財務政務官が訪れ、「日本の財政の現状について」をテーマに、10名の本学学生とトークが繰り広げられました。具体的内容として、財政再建と消費税率引き上げや、財政の課題に大学生として取り組むべきことのほか、年金、待機児童、高等教育無償化、地域活性化に向けた取組など、学生たちは幅広い領域について疑問をぶつけました。

以下参加学生の発言(一部)

● 新たな借金はこの先何年もかけて返済していくことになり、若者世代の将来の負担が増えてしまうことに不安を感じる。国の借金の問題を解決するために国民一人一人がどのようなことをすればよいか。

● このまま財政赤字が続けば、日本はどうなるのか心配。私たちが国の財政のためにできることがあれば是非知りたい。

● 財政健全化策として、女性が社会に出て働くことは重要だが、どんどん社会進出することで少子化問題が更に悪化するのではないかと懸念している。「幼い子を持つ母親が働きやすい環境が本当にあるのか」など、やや悲観的な考えが浮かんでくるのも否めない。



伊佐進一財務政務官と参加学生の集合写真

● 2050年には高齢者1人に対して現役世代1.2人が支えていくことになるのと知り、国の借金を減らしていくことができるのかという点で不安を感じた。

女性や若い世代の視点からの意見に対し、伊佐進一財務政務官は一人一人の発言ごとに丁寧に説明してくださり、充実した会となりました。学生たちは、政務官を相手に物怖じせず、若い自分たちに何ができるのか問題意識を持ち、しっかりとした意見を一人一人積極的に述べました。

(企画部 川口)



車座ふるさとトークの様子

にほんご やさしい日本語

学長 柴田 敏

「在留外国人」とは、日本の国籍を持たないで、日本で永い間暮らしている人です。

在留外国人の数は、2017年末で256万人を超えています。この数は、2016年末よりも18万人ぐらい増えています。

2018年の12月に、国会は出入国管理法を改正しました。目的は、日本で働く外国人をもっと増やすことです。

日本で学んだり、働いたりするために海外からやって来る人は、これからますます増えるのです。

在留外国人たちは、出身の国や地域によってさまざまなことばを話します。鉄道の大きな駅では、英語と中国語と韓国語の放送が流れています。しかし、それ以外のことばを話す人もたくさんいます。

そこで外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」が必要になります。

たとえば、次のような文書は、「やさしい日本語」で書いてあると、外国人にも分かりやすいです。

市役所 町役場 町内会などからの お知らせ
 学校での 規則や 説明書や お知らせ
 会社での 契約書や 規則や 説明書

では、「やさしい日本語」とはどのようなものでしょう。

弘前大学の佐藤和之先生のホームページには、次のようなことが書いてあります。

難しいことばを使わない。

一つの文を短くする。

文末を統一する。(たとえば「です」「ます」にする。)

書きことばでは、「分かち書き」にする。

例

道路が渋滞 → 道は車でいっぱいです

電車が運休 → 電車はとまっています

地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物 → 地震で壊れた建物

日本は地震や台風や大雨などの災害が多い国です。そのような時には、「やさしい日本語」で情報を伝えることが必要です。

また、耳が聞こえない人にも「やさしい日本語」は必要です。

隣人を愛しなさい。 → すぐそばにいる人を大切にしなさい。

そのために、「やさしい日本語」を知ってください。



柴田 敏
(しばた さとし)
学長

宗教委員会

2018年度クリスマス礼拝を振り返って

今年も2018年の12月19日に、静岡英和学院大学・短期大学のクリスマス礼拝が行われました。今年は私が赴任して初めてのクリスマス礼拝でしたが、教職員の先生方、学生たちとひとつになって、クリスマスをお祝いすることができました。12月初旬に本館の大きなクリスマス・ツリーが飾られ、学生たちと一緒に新館のクリスマス・ツリーの飾りつけをしました。その後シルバー人材センターの方々の協力を得てイルミネーションの設置が行われました。イルミネーションが灯された頃から、学内はクリスマスの雰囲気につつまれました。クリスマス礼拝の準備期間に遅くまで仕事をしていると、夕暮れ時に吹奏楽団の練習するクリスマスメドレーが聴こえてきました。劇団FLAMEはこの日のために、楓ホールで一生懸命に練習していました。

礼拝の当日、少し緊張した様子でしたが、聖歌隊のメンバーはしっかりと賛美歌を歌えました。チャペルメッセージに来てくださった駿府教会の中村牧師もコーラスに参加してくれました。またキャンドルサービスの点火式も上手に出来たと思います。一年生と三、四年生の先輩たちが協力して作り上げたクリスマス礼拝でした。プログラムは二部構成で、チャペルメッセージの後、吹奏楽団による名探偵コナンのテーマ、レディ・ガガのポーカージェイス、賛美歌メドレーが、クリスマスの特別メドレーとして演奏されました。劇団Flameのクリスマス劇「青春夜灯籠」も十分に練習の成果が出せたと

思います。夕方のニュースの取材は来ませんでしたが、いつか取材が来るとよいですね。

チャペル礼拝は「星空の大合唱」と題して、ルカによる福音書から降

誕節のメッセージをしました。ローマの住民登録が世界中に広がろうとしているなか、生まれる場所も与えられずに、飼い葉に寝かされた幼子イエス。天使たちの知らせを聞いたのは、寒空の下の羊飼いでした。馬小屋に何か特別なしるしなんてあるのでしょうか。いや、世界の貧しさと絶望を象徴する飼い葉桶に、御子はお生まれになったのです。今この場所から神の御支配がはじまるのです。世界中の人々に自由と、かけがえのない生きる居場所を与える為に。羊飼いの絶望は、あの星空に起こった、神の国の大合唱とともに吹き飛ばされました。神の御子が今日、地上に贈られたのだと。メリークリスマス！今日はあなたがイエス様を見つける日です。イエス様を本当に見つけることができたなら、あなたも神の国の大合唱を歌うことができます。

(宗教主任 大坪)



ボランティアセンターだより

英和ECO大作戦2018を開催しました！

10月13日(土)13時より、ボランティアセンター学生スタッフ環社チーム主催による地域貢献企画「英和ECO大作戦2018」を実施しました。日頃お世話になっている、池田山団地の方と



一緒に、町内にある桜公園を綺麗にしよう！という企画です。

参加者は学生スタッフ5名、一般の英和生6名、教職員とその家族合わせて8名、池田山団地の方5名の計24名でした。

池田山自治会長の開会のご挨拶の中で、「桜公園の机と椅子が使えるようになると大変助かる」というお言葉を頂いたので、それを目標に、みんなで道具を持って張り切ってスタート！はじめは道路の落ち葉から片付け、いよいよ本題の桜公園へ。

カマで草を刈り、膨大な量の雑草が出ましたが、雑草を束にして運びやすくしてくれたのはネパールの留学生でした。留学生の活躍も手助けし、作業は1時間半



ほどで終了。しっかり桜公園の机と椅子は使えるようになりました。

昨年は雨で中止になってしまった活動だったので、今年は開催出来て、とても良かったと思います。地域の方々と交流しながらの作業は、とても有意義な時間でした。

(ボランティアセンター 佐野)

人間社会学科

前期授業が終了し夏休みを経て後期授業が始まりました。今年は暖冬かと思っていたら急速に秋から冬へと季節が変わっています。本学では、11月10日（土）、11日（日）に第53回楓祭が行われ様々なサークルや同好会の発表、イベント、模擬店などで英和生たちの躍動する姿が随所で見られました。



第53回楓祭の様子

また、2019年1月12日(土)には在学する留学生と日本人の方々がそれぞれの芸能・文化を紹介する国際交流フェア2019が新館1Fラウンジに於いて開催されました。本学の留学生と交流できる貴重な機会となりますので、興味のある方は開催時に是非来学下さい。本学人間社会学科では観光メジャーの「観光産業特論」（崔 瑛准教授）の授業において学生が企画したツアーが商品として発売され12月15日（土）に実施されました。

心理メジャーでは毎年行われている「卒論研究発表会」が今年も12月18日（火）に新館1Fラウンジで開催されました。大学祭や

学業で活躍する今の英和生を暖かく見守り応援して頂ければ幸いです。

12月9日（日）に開催されたオープンキャンパスでは人間社会学科は例年を上回る来場者がありました。来年度人間社会学科は入学志願者の大幅増加が見込まれております。新入生並びに在学生をしっかりと教育し充実した大学生活をおくれるように学科教員一同で一層努力をしていきたいと思ひます。

（人間 古谷）



旅行日程 12月15日（土）9:00 静岡駅南口 出発

旅行代金 6,900円
(税別/食料代別、水の上代別、B/A代別、経費別、拝見料、お土産代別)

募集人数 20名（最少参加人数15名）

9:00静岡駅⇄9:45清水河津の市(周辺見学)10:10水上バス「江原の郷」⇄水上バス乗船くさかの船めし(10:43水上バス「三枚の郷」⇄10:50五枚松原バス船着く三枚松原周辺散策！>11:40散策と静岡の美しい自然！>12:30三枚松原バス駐車場⇄13:00日本平ロープウェイのびくロープウェイ⇄久能山奥閣宮見学⇄ロープウェイ>14:20日本平ロープウェイのびく⇄14:25日本平参事バスく新着所見学！>14:50⇄15:05英和学院大学くーカールの存在発見！>16:20⇄17:00散策(予定) 近天候、交通事情等により、ゆむをずす所、各地交通情報に留意が必要になることがあります。



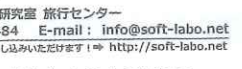
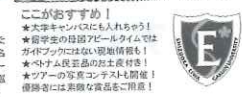
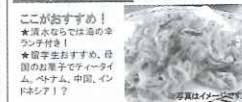
私たちがご案内します！

静岡英和学院大学で、観光分野のプロになる夢を育んでいる私たち。静岡の王道観光地のビュースポットをご紹介します。14名には観光メジャーが7名！ベトナム、中国、インドネシア、ネパール、スリランカと国際色豊かです。私たちと一緒に静岡の名所を巡りながら、ここでしか味わえない魅力を再発見してみませんか？

【お問い合わせ・お申し込み】 (株)ソフトラボ 旅行センター

TEL.054-272-0525 FAX.054-374-1484 E-mail: info@soft-labo.net

〒420-0868 静岡市葵区高が崎町3階ホムページからもお申し込みいただけます！⇒ http://soft-labo.net



コミュニティ福祉学科

一昨年、本学の教育改革推進経費で実現した「先駆的な取組を行っている社会福祉協議会におけるCSW（コミュニティ・ソーシャルワーク）初任者研修プログラム」を受講、修了した学生が、昨年、県内の社会福祉協議会のCSWとして見事に専門職採用されました。（社会福祉士採用）。

本学生は、コミュニティ福祉学科に入学以来、社会福祉コースを履修し、社会福祉士資格の取得を目指して勉学に励んできました。地域福祉論の専門演習（ゼミ）を選択し、実習先も社協、卒業研究においてもCSWをテーマに取り組みました。法人採用され、どの部署に配属されるか不確定で、部内移動もある社協において、自らが希望する地域福祉（コミュニティ福祉）分野で、かつ資格が

生きる専門職（CSW、社会福祉士）に「ピンポイント」で採用されたことの意味は非常に大きいです。つまり本コースの王道です。大学で学んだ専門知識と技術が、卒業後の仕事にまるごと生かされることも、在学生の勉学へのモチベーションを高めてくれます。

講義、演習、実習、卒論、資格が、将来の自らの仕事と完全に連動し、業務に携わる、このような学生教育は、専門職を育成・養成する教員として実にもやりがいを生み出し、さらに、社会で活躍していただくことで、私たちの誇りとなっていくものと信じています。

教育改革推進経費がきっかけとなった今回の学生の自己実現であり、今後もより充実したプログラムを開発していく所存です。

（コミ福 佐野）

「観光産業特論」を履修する学生が企画

現代コミュニケーション学科

現代コミュニケーション学科では、平成30年10月10日（水）ツインメッセを会場に開催した「しんきんビジネスマッチング静岡2018」（以下しんきんフェアと略）に教員、学生と共に参加しました。以下簡単に報告を行います。しんきんフェアの概要は、中部四信金（静岡信用金庫、静岡信用金庫、焼津信用金庫、島田信用金庫）主催の商談会です。しんきんフェアは、信金取引先企業290社、来場者15,000人、商談件数2,000件と静岡県内有数の商談会です。

しんきんフェアには、平成21年から焼津信用金庫様のご協力を得て、同金庫取引先企業のブース、特産販売会に学生を実習に派遣していま



す。その実習内容は、試供品、会社案内、パンフレットの配布、特産販売会での販売補助等です。

平成21年

の学生参加者は17名でした。本年度は、フィールドワークⅣ「しんきんフェア」と正規科目であり、学生参加



者55名に発展しています。さらに、焼津信用金庫様のご支援によって、静岡駅からツインメッセ間のシャトルバス、学生控室として利用する会議室が無料となりました。本学は費用負担が無くなっています。また、焼津信用金庫、参加企業からは学生に対して高い評価を受けています。

以上のように、しんきんフェアの参加での大きな成果は、焼津信用金庫との協調関係に基づいて、地域経済、企業、職業に対する理解が深まるという教育成果、実習先で努力する学生に対する評価は本学の評価を高めています。

（現コミ 児玉）

食物学科

皆様、こんにちは。食物学科の嬉しいニュースをお伝えします。本学科の望月裕子准教授が、栄えある静岡県知事功労賞を受賞しました。これは、34年間という永きにわたり栄養士教育に貢献したことを高く評価されたものです。

2年生は、総まとめの時期になりました。12月9日（日）には栄養士実力認定試験、12月16日（日）にはフードスペシャリスト認定試験と試験が続きました。栄養士実力認定ではAランクを、フードスペシャリスト試験では資格認定を目指して皆健闘しました。

栄養士としての実務経験を積み、管理栄養士を目指している卒業生もいます。食物学科では、そのような卒業生を対象にした管理栄養士国家試験対策講座を開催しています。夏の対策講座、2回の模擬試験を行い、卒業後のサポートも20年間継続して行っています。

さて、今年度も引き続き、本学科の特色の一つである静岡大学農学部との単位互換制度が活発に行われています。静岡大学農場でトマトピューレの加工や温州みかんの摘果と加工、イネの調製、紅茶・緑茶への加工等を体験させていただきました。一方で、静岡大学農学部の約50名の学生も9月と2月の2回本学の調理実習室において、静大農場で収穫した柑橘やトマトの加工あるいは製パンなどに取り組み、農業の6次産業化について英和の学生と一緒に考えました。

また食物学科では学外講師による学びを積極的に講義や実習に取り入れています。「調理学実習Ⅳ（食品加工実習）」の実習では、9月に森永乳業株式会社（クラフトチーズ）の方をお招きし、チーズ講習会を開催しました。この取り組みは、7年目を迎え、レベルアップを考えています。11月には、小鹿にあるレストラン「アンテラス」のシェフ 杉本道彦氏をお招きし、プロのレシピや技による本格的な洋菓子作りにチャレンジしました。この様子は学校案内のパンフレットにも掲載される予定です。12月には、静岡市認定農業者協会会員である、青木嘉孝氏による昔ながらの餅つきを実施しました。なくてはならない英和の風物詩となりました。1月には、「食品学各論」の講義にて干し椎茸協会の方から講義をいただいた後、グループワークを行いました。

その他にも静岡市の食育事業やしずまえ鮮魚関連で学生が活躍しています。1年生が考案した「しずまえ鮮魚 秋冬あったかレシピ」は静岡市から全戸に織り込み配布されました。HPにも掲載されていますので、是非ご覧ください。

このように、食物学科は学内・学外でこれからもチャレンジ精神旺盛に頑張っていきたいと思っております。

（食物 彭・前田）

研究室探訪



毛利 康秀

(もうり やすひで)

所属：人間社会学科

職名：准教授

研究テーマ：「高度情報社会における観光文化の進展に関する研究」「近代観光の成立にメディア文化の発達及ぼした影響に関する研究」「地域活性化と観光振興に関する研究およびフィールドワーク」

観光振興と地域活性化をはじめとする諸問題について、主に社会学（観光社会学）の考え方から解明していく研究を進めています。現在は、「近代観光の成立にメディア文化の発達及ぼした影響に関する研究」や「ツーリズムと地域活性化に関する研究」といったテーマに取り組んでいます。「近代観光の成立にメディア文化の発達及ぼした影響に関する研究」では、第二次世界大戦前の絵葉書に着目し、特に満洲国期のハルビン市およびハルビンに関する絵葉書を題材として、近代観光の発達に絵葉書メディアが果たした歴史的役割の解明を進めています。観光地の風景や観光経験の共有は、今ではインターネットやスマートフォンを活用することで容易に実現出来ますが、昔は絵葉書がその役割を担っており、現在のいわゆる「写メール」と同様の機能を果たしていました。実際に使用された当時の絵葉書の文面を読み込むと、ハルビンに到達した喜びや観光体験で得られた驚きが率直な表現で綴られているものが多く、興味は尽きません。このほか、富士山頂から差し出された絵葉書の内容を分析する準備も進めているところです。

「ツーリズムと地域活性化に関する研究」では、J.アーリ、D.マキアーネルの知見を取り入れつつ、映画やドラマなどコンテンツ作品にちなんだ観光（コンテンツツーリズム）と地域活性化の促進についての研究を進めています。コンテンツツーリズムは「製作者」×「地域」×「ファン」の三者間の良好な関係性が重要であるとされていますが、前二者の研究の充実ぶりに比べて、ファンのあり方の追求につ

てはこれからといった状況なので、M.チクセントミハイのフロー理論を応用したモデルの構築も試みています。静岡に縁が出来てからは、沼津市を舞台としたメディア・ミックス作品「ラブライブ！サンシャイン!!」に注目し、社会的な影響も含めた現象の解明に努めています。オープンキャンパスでの模擬授業の題材として取り上げたとところ好評で、これらをきっかけに関心を深める学生が増えてくれると有り難いです。

このほか、ふじのくに地域・大学コンソーシアムより助成をいただき、沼津市の伝統的特産品のPRや、御殿場市の商店街の実態調査および空き店舗活用事例による地域振興策研究にも取り組んでおります。

社会貢献活動

「I Loveしずおか協議会」と静岡英和学院大学との連携及び協力に関する協定に基づき、静岡市の中心市街地の活性化に関する取り組みを行っています。今年度は七間町名店街との連携を行い、毎月1回のペースで店主の方々と学生との間でミーティングを行っているほか、青空市への出展、イベントへの参加、独自イベントの企画と実践などを通して、七間町の賑わいに貢献することが出来るよう、鋭意頑張っております。

ゼミ紹介文

毛利ゼミは観光に関心がある学生が所属しており、個人研究テーマに基づいた研究を行いながらグループ研究として地域活性化や観光まちづくりに関する社会貢献活動に携わったりフィールドワークを行ったりしています。卒業論文のテーマは観光に関係するものであればOKで、時々研究の進捗状況を報告することで、研究の進み具合を共有しています。アンケート調査も行うので、社会調査士資格の取得を考えている方は所属することを勧めます。

社会貢献活動

(学生談)

ゼミ紹介文

アンケート調査も行うので、社会調査士資格の取得を考えている方は所属することを勧めます。

(学生談)



財務課

～平成31(2019)年度 学納金の納付書発送及び納入期限について～

	前 期 ※1	後 期 ※1
納付書発送時期	平成31(2019)年4月上旬	平成31(2019)年9月上旬
納入期限 ※2	平成31(2019)年4月25日(木)	平成31(2019)年10月2日(水)

※1 学納金は、前期と後期の2期に分けて納入いただきます。

但し、新入生(1年生・3年次編入生)の前期分は、入学手続き時に納入済みです。

※2 家庭の事情等により、期限内に学納金の納入が困難な場合は、分割・延納が可能(別途手数料あり)ですので、学生課(Tel:054-264-8873)までご相談ください。

留学生センターだより



留学生日本語弁論大会 優秀賞（第2位）のティティさん

今年度の本学の外国人留学生は、大学と短大を合わせて約150人となり、出身国の多い順では、ベトナム、中国、ミャンマー、ネパール、スリランカ、インドネシア、バングラデシュ、フィリピンとなっています。

今年度もすでに後期の終盤となっていますが、前期には、ふじのくに留学生親善大使の委嘱式、留学生日本語弁論大会、高校での国際理解教育参加など、勉学と共に、国際交流の場に積極的に参加する留学生の姿が見られました。

また、後期の最も大きな行事である楓祭には、野外での屋台に出店しました。その内訳は、バングラデシュのタンドリーチキン、スリランカのカトレット、インドネシアのタゴレンで、いずれも好評で、終了時間前

に売り切れるという人気でした。有志として、ネパールのモモも売られ、これも評判になる味でした。

楓祭での活動は、留学生センターの日本人学生スタッフがリーダーとなっていますが、協力して活動する留学生についても、たいへんたのしく感じました。その他に、創作舞妓ストリートファッションショー、国際交流フェア2019など、いろいろな活動は英和のホームページにブログで紹介されています。とにかく留学生が元気に何かに取り組んでいる姿は、日本人学生を励ますような効果もあると思われます。

楓祭のお笑いライブの舞台に、客席から堂々と参加したスリランカのシャシンさん（短大、現コミ1年）。彼の姿も多くの人の記憶に残るのではないかと思います。

（留学生センター 磯貝）



国際交流フェア2019in英和 インドネシアの留学生と子どもたち

保健室だより

2018年4月より保健室に着任した看護師の森田美和子です。静岡英和学院大学で学生と関わることをうれしく思っています。保健室は、学生相談の場所でもあります。いつでもどんな時でも何となく立ち寄っていい場所です。体調が優れない時だけでなく、足を運んでいただけたらと思っています。

ところで、「健康増進法」では、「健康は国民の責務」ということを知っていましたか？ 私たちは、自身の健康のために何かしらの努力をしないとイケないのです。結局のところ、地元で採れた旬のものを腹八分摂り、適度な運動と良好な人間関係が保てる場がありストレスをためないことが健康に繋がり、更には幸せに繋がるのでは。とはいっても、ストレス社会に生きている私たちは、知らず知らずのうちに体調を崩すことも。疲れ、むくみ、肩こり、不眠、冷え性、肌荒れ、消化器症状。病院に行くほどではないけれど、または、病院に行っても異常なし。でもどうにかしたい状態。これが最近よく言われる「未病」の状態です。「未病」とは、健康と病気の間を連続的に変化する状態のこと。場合によっては、病気に向かって進んでいる状態のこと。となれば、早い段階でそれに気づき最善の手を打つことが大切なのですが、一概にこれを食べれば健康に

なれるというものでもなく、まずは、自分の体質を知り未病の改善に取り組むのが健康への近道なのです。自分の体質…知りたいけど知ろやがないと思わないでください！ 神奈川県から了承もらったHPを以下に紹介します。

「神奈川県HP 未病」検索

神奈川県では県を挙げて「未病改善」に取り組み始めています。県のHPには、未病チェックシートが載っていて、すぐに自身の体質チェックができます。22～23項目の質問に答えるだけで、「未病」の度合いをチェック。

「気虚（ききょ）」「瘀血（おけつ）」など8つのタイプに分類された判定結果と改善につながるアドバイスの紹介、さらに状態に合わせたおすすめの食材もご提案しています。

「未病」の状態から自身で健康になるために、ぜひチャレンジしてみてください！

（保健室 森田）

健康 ← 未病 → 病気

キャリア支援課

業界勉強会を実施しました

大学3年生・短大1年生を対象とした「業界勉強会」を1月22日（火）に実施しました。この勉強会は卒業生の就職実績がある事業所から、それぞれの業界について説明をいただくイベントです。就職活動が本格的に始まる3月から順次開催されていく合同企業説明会の予行演習も兼ね、事業所ごとのブースに学生が訪問する形式で行いました。

今回は21事業所に参加いただき、学生はそのうち4つずつの事業所ブースを回りました。半数以上の事業所からは実際に卒業生も来場し、先輩の経験談なども聞くことができる機会となりました。今まで興味がなかった業界も、実際に事業所の方や卒業生の話を伺うと様々な発見や気づきがあり、視野が広がったという



学生も多数いました。また、慣れないリクルートスタイルでの参加でしたので、スーツでの立居振る舞いや1日スーツで過ごすことの大切さを感じたとか、就活本番に向けて気が引き締まって良かったという感想もありました。

いよいよ就職情報解禁の3月になり、合同企業説明会や各事業所での説明会などが始まりました。キャリア支援課では引き続き、フォロー講座や個別面談・添削指導・面接指導など行って参ります。また、学内での企業説明会も多数開催していく予定です。今回の業界勉強会や今後の指導などを通じて、学生の皆さんの可能性が少しでも広がることを願っています。

(キャリア支援課 小田)

後援会だより

秋の講演会を開催しました

11月10日に本学楓ホールにてナマステ・ネパールしずおか会長のナレス マハラジャン氏を講師に迎え、「日本に留学、就職して」と題して講演会を開催しました。異なる言語、文化、生活習慣を持つ人々と共生していく多文化共生社会の在り方について、日本に留学し日本企業で活躍されている講師の経験を基にお話しいただきました。本学で学ぶ留学生も多数聴講しましたが、日本人にとっても考えさせられる内容でした。引き続き行われたトークセッションでは、講師、柴田学長、学生2名が

多文化共生社会の現状や課題について意見交換を行いました。
(学生課 松澤)



講師のナレス マハラジャン氏



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201

FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会